

丹波中学校だより 清流の辺

せい りゅう ほとり

平成28年8月23日(火)
No. 28

文責 丹波中学校長 梶原勝由

山梨県中学校総合体育大会 ～柔道・卓球・陸上～ 陸上1年男子砲丸投げ3位

7月24日
(日)から29
日(金)まで
第67回山梨
県中学校総

合体育大会が開催され、本校も柔道の部、卓球の部、陸上の部に出場しました。

24日は嶋崎龍弥君が柔道73kg級に出場し、2回戦敗退でした。25日は卓球男子団体に
出場し、優勝した梨大附属中と対戦、敗退でした。



28日と29日は陸上の部。1日目は船木俊成君が共通男子3000mに出場し、記録は10'59"でした。2日目は守岡響希君と芦澤優希君が1年男子砲丸投げに出場し、記録はそれぞれ9m50と11m31で、芦澤優希君がみごと県3位となりました。また、廣瀬賢君が共通男子100m、嶋崎龍弥君が共通男子砲丸投げに出場し、記録はそれぞれ13"04、8m40でした。県総体に出場した生徒は、結果はともかく練習で培ったことを発揮し全力で挑んでいました。



職場体験 村の方々に支えられて

2年生3名が丹波山村保育所、丹波山診療所、丹波山社会福祉協議会、かどや旅館のご協力・ご理解を得て、職場体験を3～4日間実施しました。将来への夢をみつめ、働くことの大切さ・つらさ・喜びなどを体得したようでした。事業所等関係機関の皆さん、大変ありがとうございました。



2学期始まる 3年生最後の学園祭そして進路決定

猛暑、炎暑が続いた夏休みが終わりました。3年生は最後の県総体で燃焼、2年生は職場体験で働くことの大変さ、そして教育委員会主催の学力向上フォローアップで基礎学力・学習習慣の定着を図り、有意義な日々を送ったことだと思います。また、リオオリンピックにおいては、並々ならぬ努力・精進がなければ目指すものは得られないことを知り、感動や勇気をもらったことでしょう。

いよいよ今日から2学期。始業式で誓った抱負を夢物語で終わりにするのではなく、何をどのようにすれば抱負が達成できるのかをしっかりと考えなければなりません。特に「継続は力なり」という諺があるように考えたことを実行に移して欲しいです。

また、2学期は様々な行事があります。3年生にとって最後の小中運動会・清流祭、子ども議会、2年生が中心となって行われる新人戦、丹管音楽祭、学習発表会などがあります。そして、教達検、進路決定(3年)。進路が実現できるように家族でよく話し合い、計画的に学習に励みましょう。



私の好きな一冊 川村元氣 著『世界から猫が消えたなら』

正直言うと、私はあまり本を読みません。エッセイなど現実にあった話を書いたものはたまに読めますが、『物語』特にファンタジーなどはどうも現実味がなくて苦手です。しかし、この『世界から猫が消えたなら』は一日で読み終えることができました。

簡単に内容を話すと、余命宣告をされた主人公の前に悪魔が現れ、寿命を延ばすための取引をします。それは、世界から何か一つ大切なものを消す代わりに一日の命を得ることができるというもの。電話、映画、時計、猫…。それらが消えるとそれらによって繋がった人との記憶も消えてしまいます。生きたいと望む反面、大切なものがなくなっていく葛藤の中で、恋人や親友、家族とのつながり確かめながら命と向き合う主人公の姿を描いています。

自分が主人公だったら、大切なものと引き換えに手に入れた一日の命で何を感じて、何を思うのだろうか？と、自分に置き換えて読み進めることができる物語です。映画化もされました。機会があったら見てみてはいかがでしょうか？主人公の飼い猫『キャベツ』の視点から書かれた本もあります。(文責:嶋崎志津香先生)